

12月
12日
聖徒伝 233

なぜ悪者が 栄えるのか

エレミヤ書 12章

エレミヤの問いと神の答え

アウトライン

0. イントロダクション

I. エレミヤの問い 12:1～4

II. 神の答え 12:5～17

III. まとめと適用

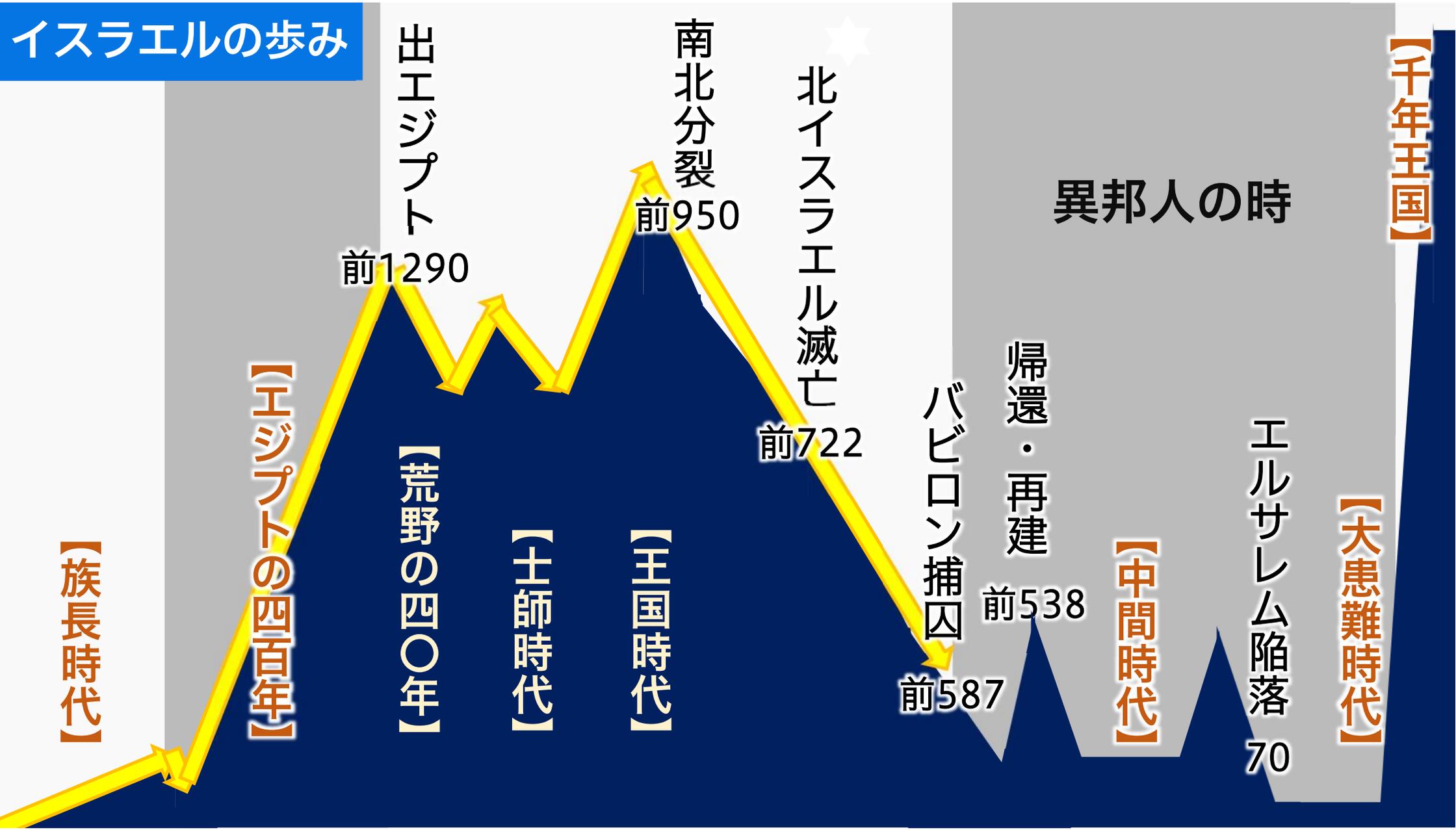
なぜ悪者が栄えるのか



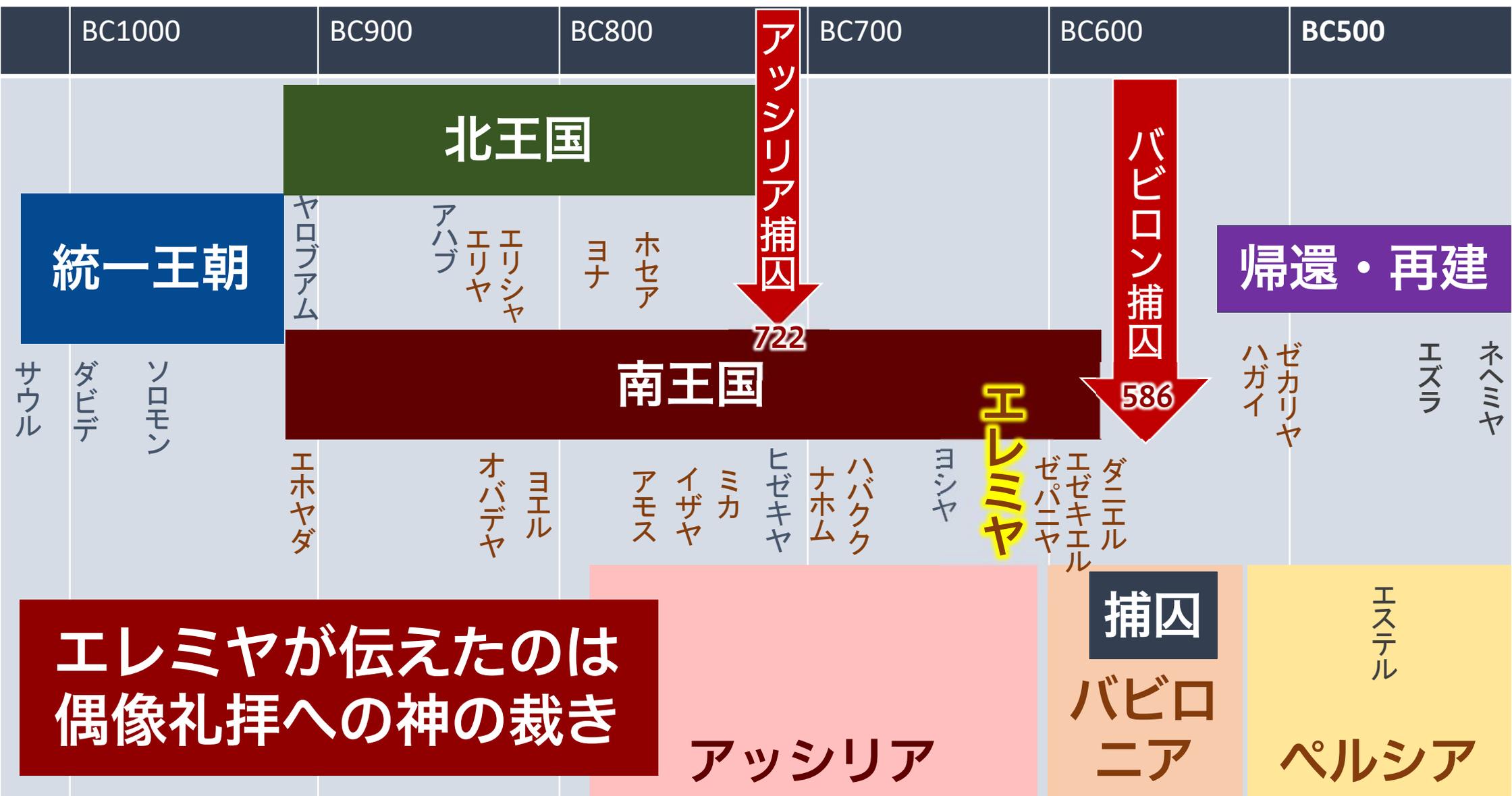


0. イントロダクション

イスラエルの歩み



イスラエル王国史



エレミヤ書の構成

章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

なぜ預言を学ぶ必要があるのか？

- ① 預言は、神が預言者に託された、**神の言葉**
- ② **聖書の1/3**以上は、預言または預言的内容
- ③ 預言の多くの内容は**将来のこと** = 私たちにも深く関係

「わたしが律法や預言者を廃棄するために来た、と思っ
てはなりません。廃棄するためではなく成就するために来た
のです。マタイ5:17」

エレミヤの視点で見る神の預言は、こんな感じ？



今だから分かる 段階的な預言の内容



南北時代



① 直近の
苦難

メシア初臨



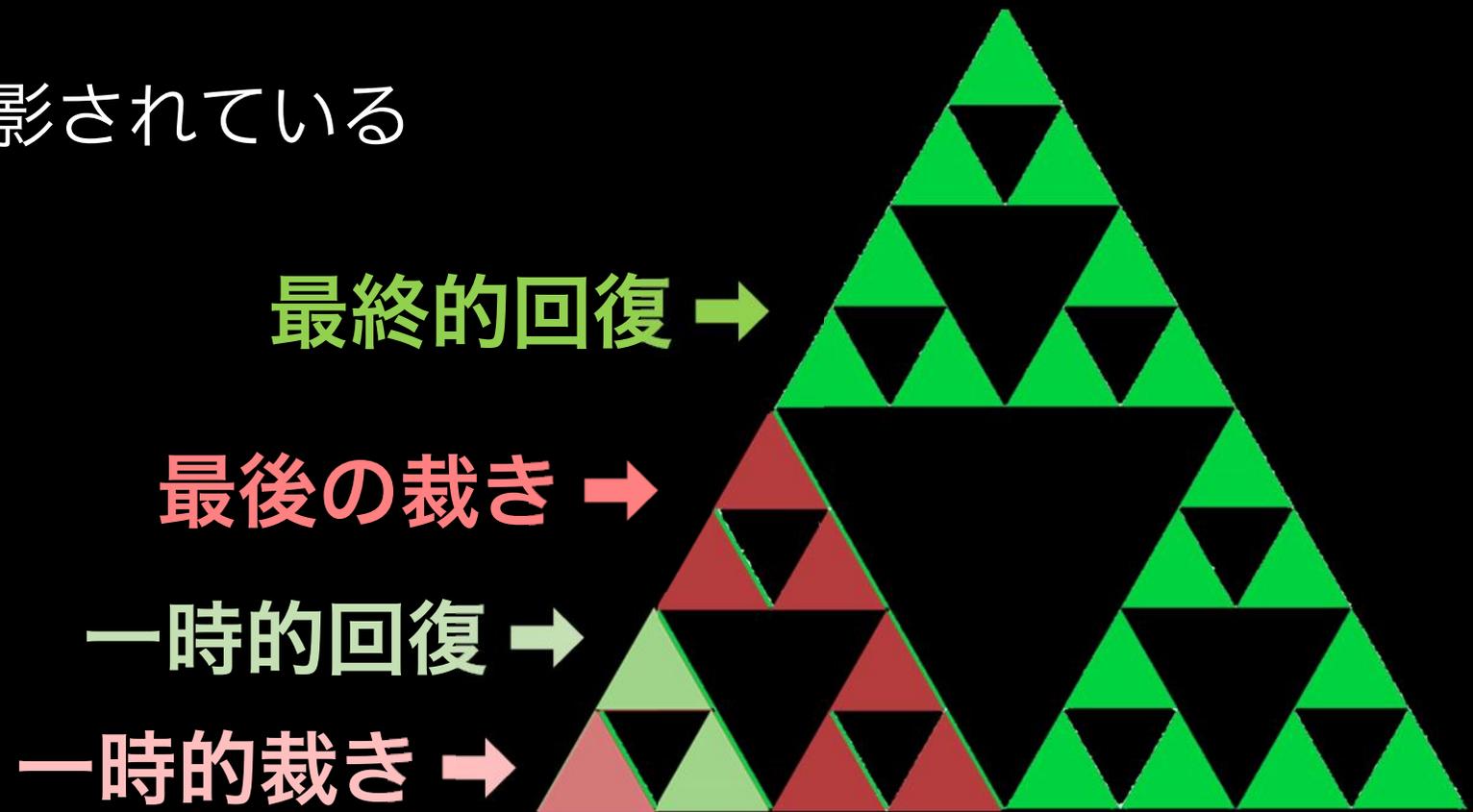
② 主の日
大患難時代



③ 回復
メシア再臨

預言は、フラクタル(相似形)で、シームレス(ひとつなぎ)

部分に全体が、
全体に部分が投影されている



神学用語のとらえ方

例)「三位一体」という言葉は、聖書にはないが…

事実①：神は唯一

事実②：神も、キリストも、聖霊も、人格を持った神

結論：神は唯一だが、三つの独立した人格を持つ。

→絶妙に表現した神学用語が、「三位一体」

byテルトゥリアヌス(160～230年)

■重要なのは、神学用語(人間的な説明)ではなく、

聖書に書かれた事実

理解の大きな助けだけど、用語に捕らわれすぎないこと!!



1. エレミヤの問い

エレミヤ書12:1~4

ユダの荒野

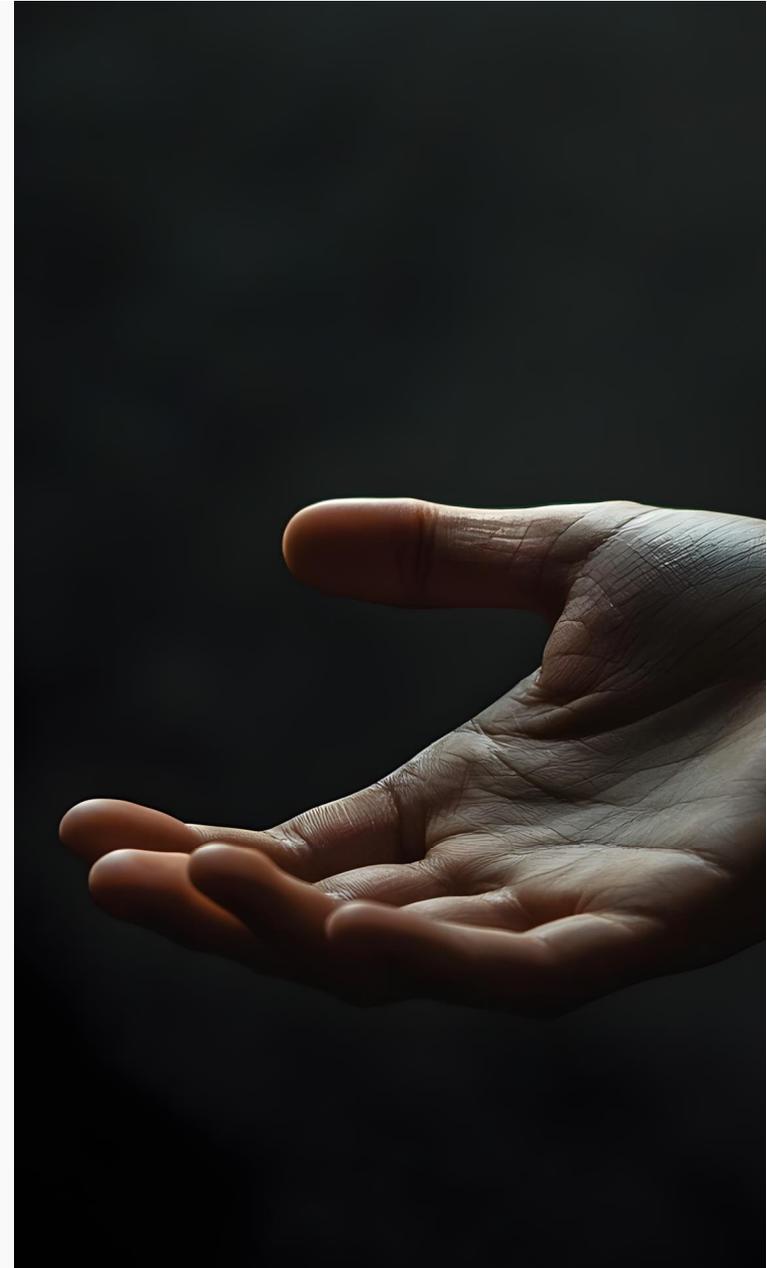
問い 神への問い エレミヤ12:1

「【主】よ。私があなたと論じても、あなたのほうが正しいのです。それでも、私はさばきについてあなたにお聞きしたいのです。なぜ、悪者の道が栄え、裏切りを働く者がみな安らかなのですか。」

■「なぜ、悪者が栄えるのか？」

➔いつの時代にも普遍的な人間の問い

■エレミヤは、神の正しさは重々承知でも、問わずにいられない!!



問い 偽善者 エレミヤ12:2

あなたが彼らを植え、彼らは根を張り、伸びて実を結びました。あなたは、彼らの口には近いのですが、彼らの心の奥からは遠く離れて*おられます。

*言葉巧みでも、心は裏腹の偽善者。

■悪者の命を与え、保たれているのも主。

分かっているにもかかわらずにいられない。



問い 試し エレミヤ12:3

【主】よ。あなたは私を知り、私を見て、あなたに対する私の心を試されます*。どうか彼らを、屠られる羊のように引きずり出し、殺戮の日*のために取り分けてください。

*悪者との対峙から信仰を試されるエレミヤ

*屠殺の日 →主の日

「イザヤ30:25 大いなる殺戮の日*、やぐらの倒れる日に、高い山、そびえる丘の上すべてに、水の流れる運河ができる。」



問い 収奪者 エレミヤ12:4

いつまで、この地は喪に服し、すべての畑の青草は枯れているのでしょうか。そこに住む者たちの悪のために、家畜も鳥も取り去られています。人々は『神はわれわれの最期を見ない』と言っています。」

- 神をも恐れず、収奪の限りを尽くす者たち
 - ➔ イスラエルの罪の元凶





I. 神の返答

エレミヤ書12:5～17

ユダの荒野

答え

無謀な挑戦 エレミヤ12:5

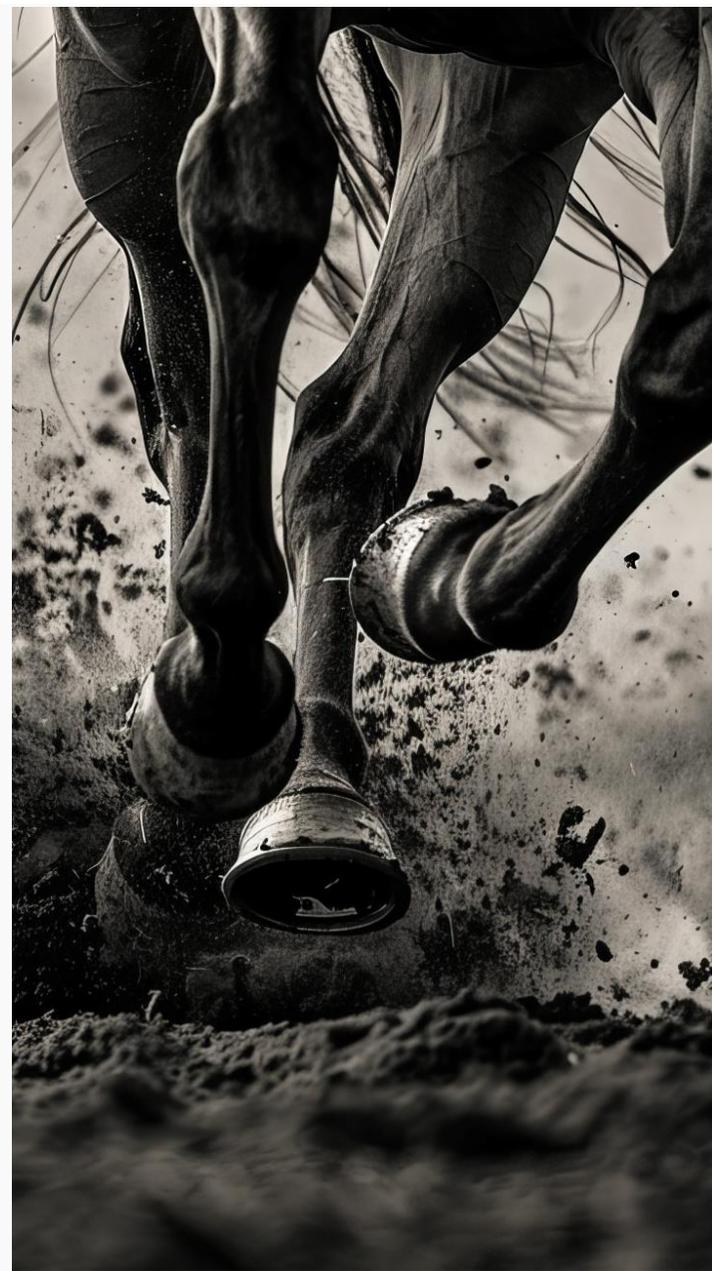
「あなたは徒歩の者と競走して疲れるのに、
どうして馬と走り競うことができるだろうか。
平穏な地で安心して過ごしているのに、どうして
ヨルダンの密林*で過ごせるだろうか。

*熊や獅子など、危険な猛獣の生息地域

■主から見れば、エレミヤが対峙する悪者は、
徒歩の者であり、状況は平穏な地のよう。

➡悪の真相を知るのは、神だけ

➡人として真の悪を体感 ➡イエスのみ



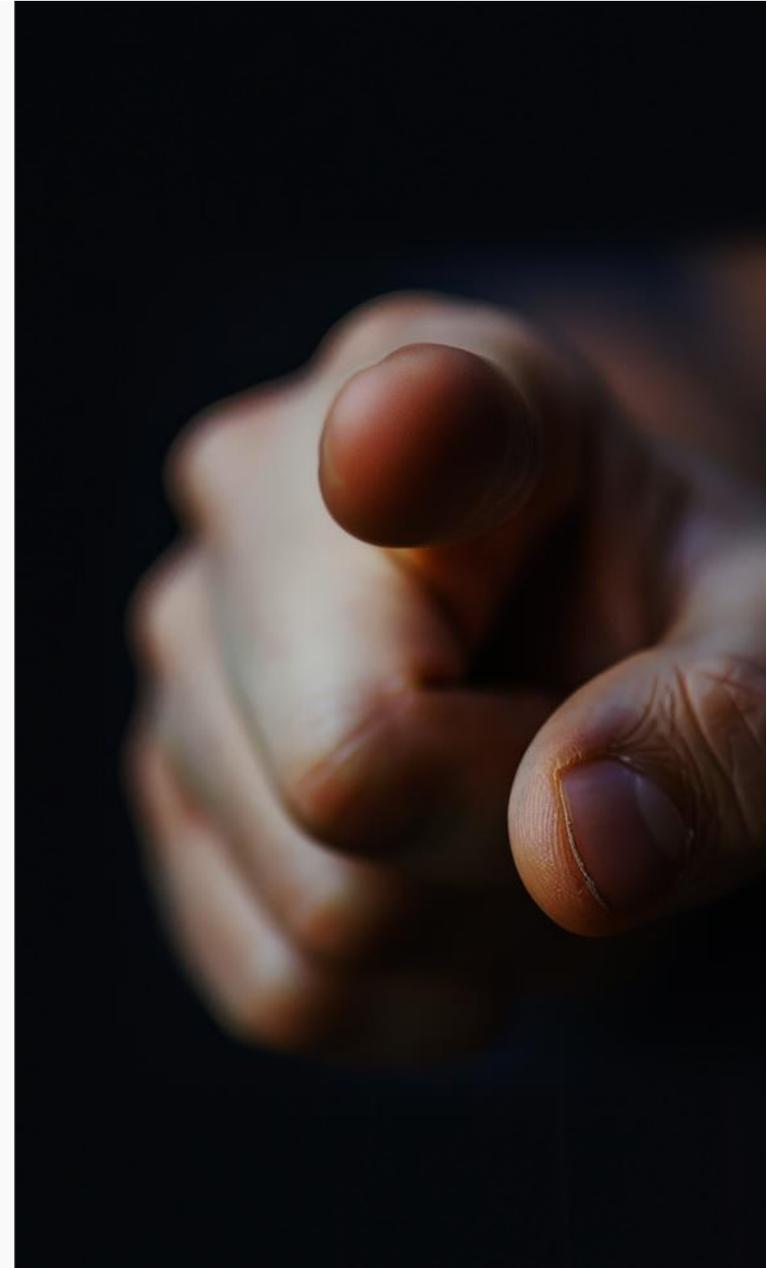
答え

身内の裏切り エレミヤ12:6

あなたの兄弟や、父の家の者さえ*、彼らさえ、あなたを裏切り、彼らでさえ、あなたのうしろから大声で叫ぶ。だから彼らがあなたに親切そうに語りかけても、彼らを信じてはならない。

*アナトテの見捨てられた祭司の家系の親族

■主イエスの証言…「預言者は自分の故郷では尊ばれない ヨハネ4:44」



答え 主の裁き エレミヤ12:7

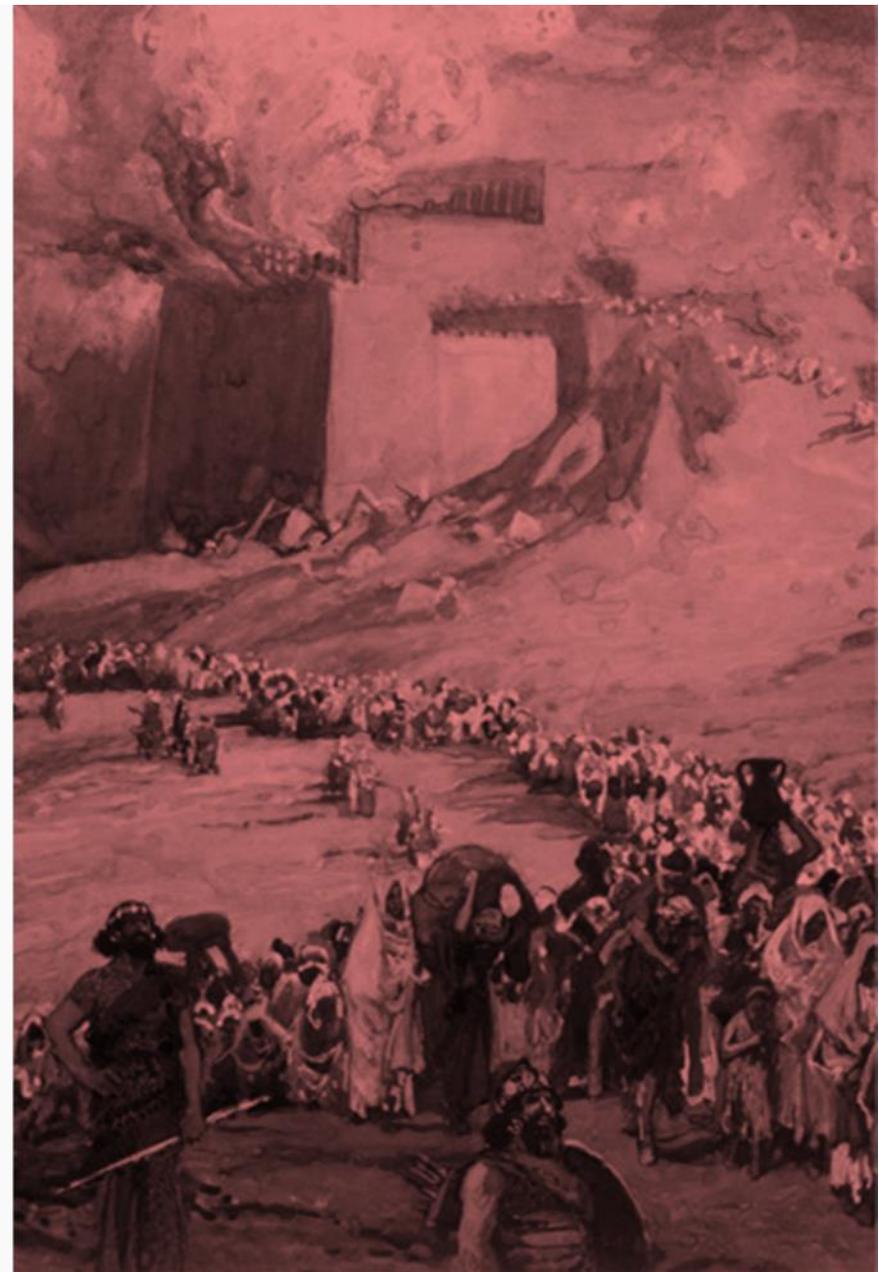
わたしは、わたしの家*を捨て、わたしのゆずりの地*を見放し、わたしが心から愛するもの*を、敵の手中に渡した。

*エルサレム、エルサレムの神殿

*約束の地・イスラエル

*イスラエル・ユダの民

■バビロン捕囚は、神の決定事項

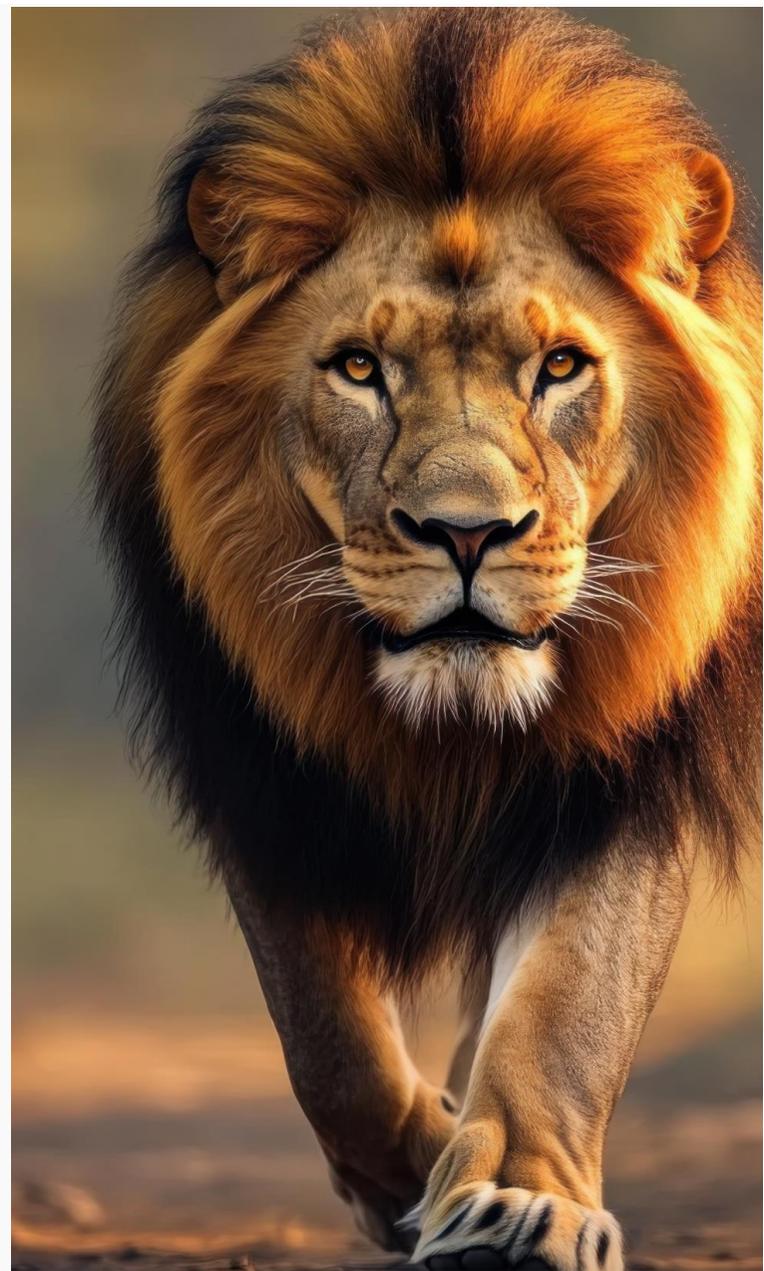


答え 林の中の獅子 エレミヤ12:8

わたしのゆずりの民は、わたしにとって、林の中の獅子のようだ。それはわたしに向かって、うなり声をあげる。それゆえ、わたしはこの地を憎む。

「民23:24 見よ、一つの民を。それは雌獅子のように起き上がり、雄獅子のように身を持ち上げ、休むことはない。獲物を食らい、殺されたものの血を飲むまでは。」

■獅子に形容されるイスラエルが、
その牙を主に向かってむき出しに!!



答え 猛禽 エレミヤ12:9

わたしのゆずりの民は、わたしにとって、
一羽の斑の猛禽*なのか。それを猛禽どもが
取り巻いているのではないか。さあ、すべての
の野の獣を集めよ。それらを連れて来て、
食べさせよ。

* 屍肉を食べる秃鷹…けがれた鳥

→ 終末の裁きの象徴

ルカ 17:37 弟子たちが、「主よ、それはど
こで起こるのですか」と言うと、イエスは
彼らに言われた。「死体のあるところ、そ
こには秃鷹*が集まります。」



大艱難時代に出現する猛禽

■ 黙示録19:17~18

また私は、一人の御使いが太陽の中に立っているのを見た。彼は大声で叫び、中天を飛んでいるすべての鳥たちに言った。

「さあ、神の大宴会に集まれ。

王たちの肉、千人隊長の肉、力ある者たちの肉、馬とそれに乗っている者たちの肉、すべての自由人と奴隷たち、また小さい者や大きい者たちの肉を食べよ。」

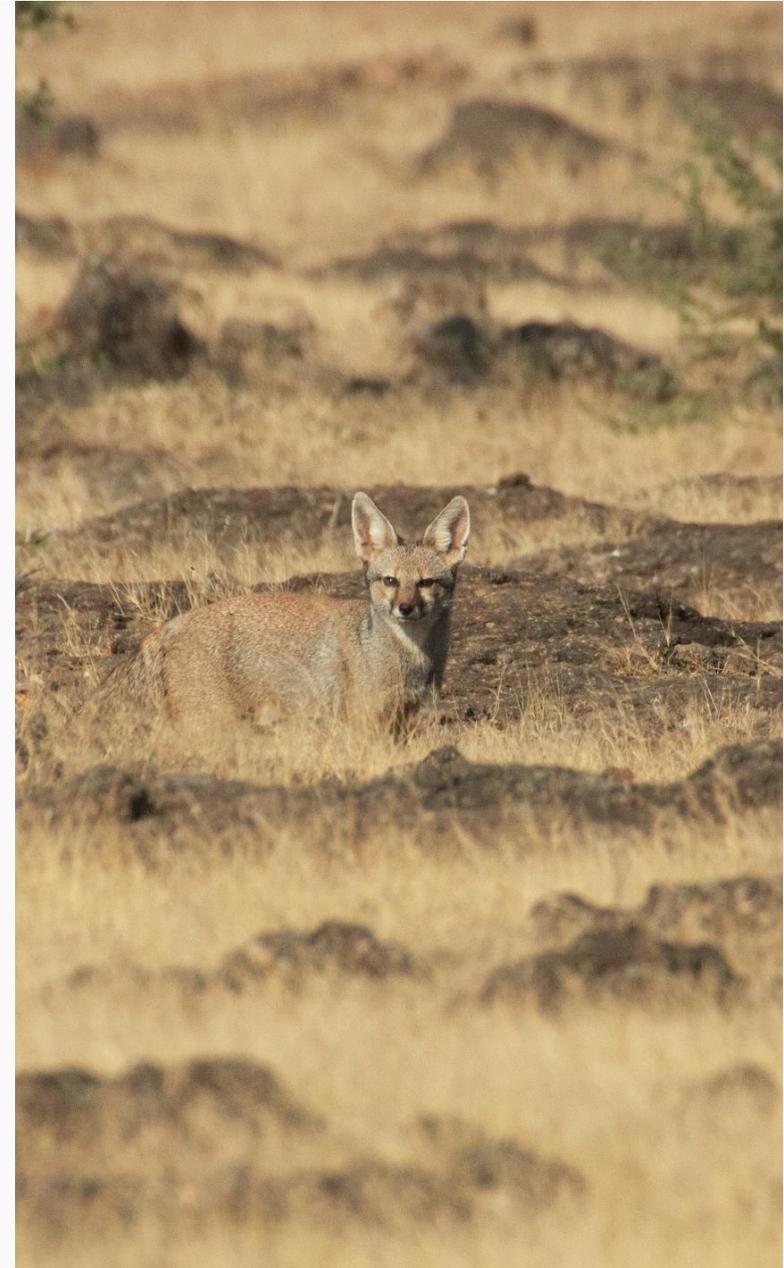
答え 恐怖の荒野 エレミヤ12:10

多くの牧者が、わがぶどう畑*を荒らし、わたしの地所を踏みつけて、わたしの慕う地所を恐怖の荒野*にした。

*イスラエルの象徴

*猛禽や野獣が徘徊する恐ろしい場所

■多くの牧者(王や祭司、預言者)の背教が、神の裁きと荒廃を招いた。



大艱難時代 イスラエルへの神の裁き

■黙示録14:19～20

御使いは地上に鎌を投げて、地のぶどうを刈り集め、
神の憤りの大きな踏み場に投げ入れた。

都の外にあるその踏み場でぶどうが踏まれた。

すると、血がその踏み場から流れ出て、馬のくつわの高さに届く
ほどになり、千六百スタディオンに広がった。

答え 約束の地の嘆き エレミヤ12:11

それ*は恐怖と化し、荒れ果てて、わたしに向かって嘆き悲しんでいる。全地は荒らされて、まことに、だれも心に留める者はいない。

*主の裁きを受け、荒廃したイスラエル



答え 荒らす者 エレミヤ12:12 a

荒野にあるすべての裸の丘の上に、**荒らす者***が来た。

*究極が、大艱難時代の反キリスト

■反キリスト…イスラエルと平和条約を締結。

艱難期半ばに神殿を汚し、本性を現し、

イスラエルを大迫害、最終戦争へ



大艱難時代の「荒らす者(反キリスト)」

■ダニエル書9:27

「彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物をやめさせる。忌まわしいものの翼の上に、**荒らす者**が現れる。そしてついには、定められた破滅が、**荒らす者**の上に降りかかる。ダニエル9:27」

■主イエスの警告 マルコ福音書13:14

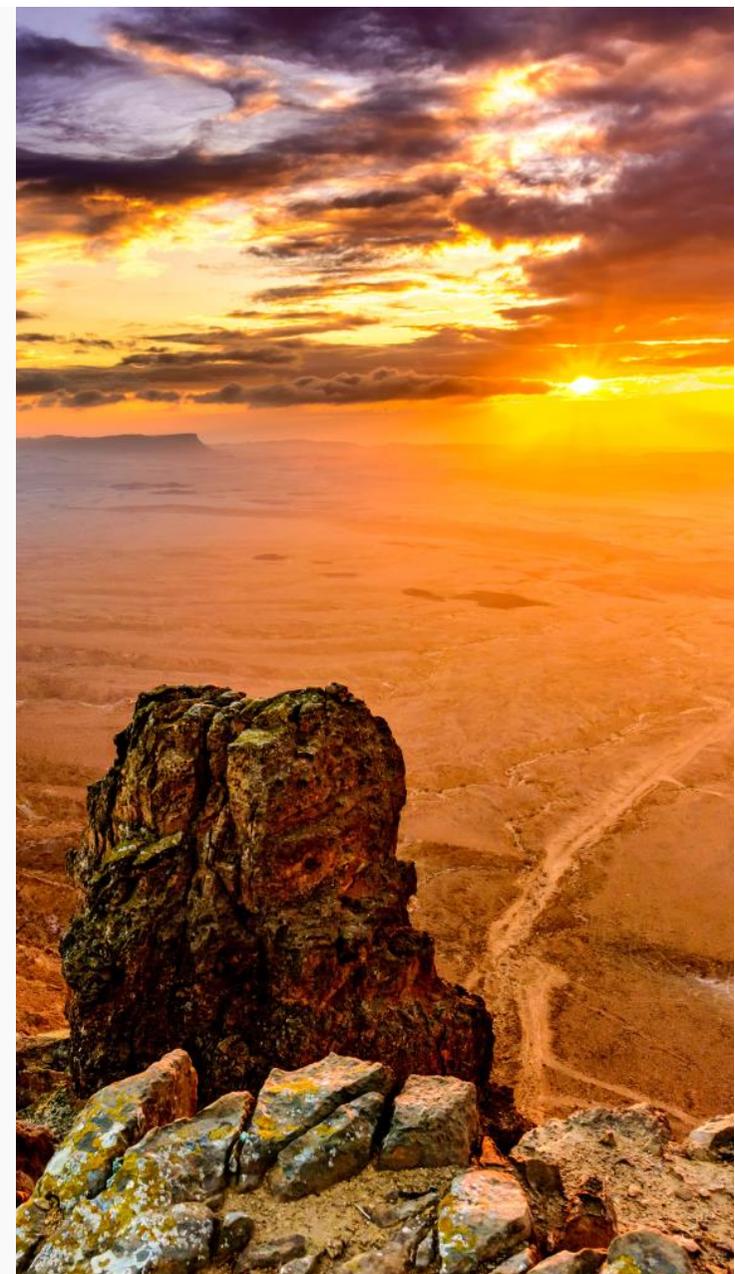
『**荒らす忌まわしいもの**』が、立ってはならない所に立っているのを見たら——読者はよく理解せよ——ユダヤにいる人たちは山へ逃げなさい。

答え 主の剣 エレミヤ12:12b

【主】の剣*が、地の果てから地の果てに至るまで*食い尽くすので、すべての肉なる者には平安がない。

*神の裁きの象徴

*艱難期、異邦人もすべて神の裁きの対象に



全民族に裁きを下す 「主の剣」

■ イザヤ書34:6

【主】の剣は血で満ち、脂肪で肥えている。子羊とやぎの血、雄羊の腎臓の脂肪で。【主】がボツラ*でいけにえを屠り、エドムの地で大虐殺をされるからだ。

* 艱難期後半、イスラエルが逃げるとされる場所

→エルサレムを壊滅させた反キリストの軍勢が押し寄せる

答え 主の燃える怒り エレミヤ12:13

小麦を蒔いても、茨を刈り取り、労苦しても無駄になる。あなたがたは、自分たちの収穫で恥を見る。【主】の燃える怒り*によって。」

*背教のイスラエルに対する神の怒り



「主の燃える怒り」

■ エレミヤ書4:7～9

獅子はその茂みから立ち上がり、国々を滅ぼす者はその国から出て来る。あなたの地を荒れ果てさせるために。あなたの町々は滅び、住む者はいなくなる。」

このことのために、粗布をまとして悲しみ嘆け。【主】の燃える怒りが、私たちから去らないからだ。

「その日には——【主】のことば——王の心や、高官たちの心は萎え、祭司は啞然とし、預言者はたじろぐ。」

宣告 悪い隣国の民 エレミヤ12:14

【主】はこう言われる。「わたしの民イスラエルに受け継がせたゆずりの地に侵入する、悪い隣国の民*について。見よ。わたしはその土地から彼らを引き抜き、彼らの間からユダの家も引き抜く*。

*バビロニアはじめとする侵略者たち

*異邦人の中からより分けられるイスラエル

■ 神の裁きの器として用いられた侵略の民も
彼らの自身の罪によって厳しく裁かれる。

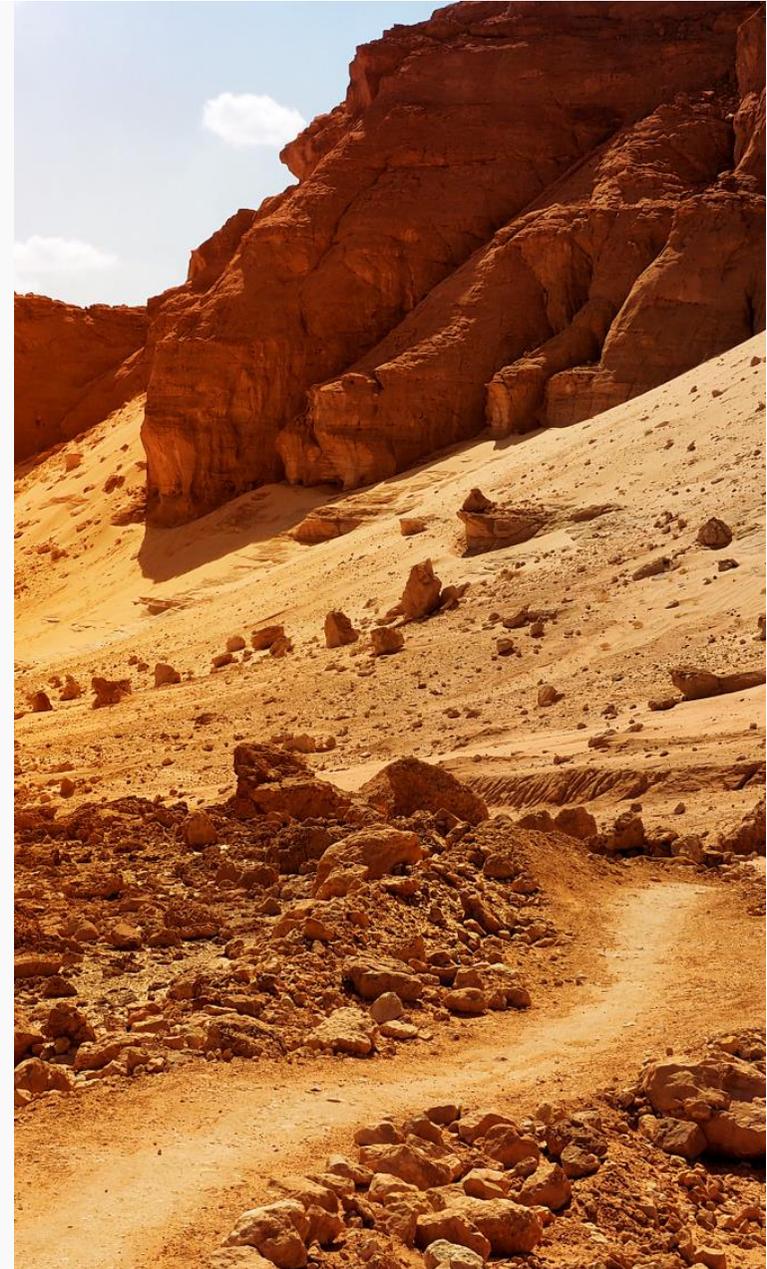


宣告 それぞれの帰還 エレミヤ12:15

しかし、彼らを引き抜いた後、わたしは再び彼らをあわれみ、彼らをそれぞれ自分のゆずりの地、あるいは自分の土地に帰らせる。

■ 信仰者は、ユダヤ人、異邦人それぞれに、神の国でゆずりの地を与えられる。

➔ ユダヤ人も異邦人も帰還するのが、再臨の主イエスが建てられる神の国



宣告 異邦人の救い エレミヤ12:16~17

彼ら*がかつて、バアルによって誓うことをわたしの民に教えたように、もし彼らがわたしの民の道をよく学び、わたしの名によって『【主】は生きておられる』と誓うなら、彼ら*はわたしの民のうちに建てられる。

しかし、彼ら*が聞かなければ、わたしはその国を根こそぎ滅ぼす—【主】のことば。」

- 偶像礼拝の異邦人*も、唯一の神を信じて神の国の民とされる。





Ⅲ. まとめと適用

なぜ悪者が栄えるのか

なぜ悪者が栄えるのか？

■「なぜ義人が苦しむのか」

➔ヨブ記のテーマだが、答えはない。

「知っているなら告げてみよ(ヨブ記38:19)」

神による圧倒的な問い、ヨブの沈黙、受諾で終了

■最古の文書の一つが、ヨブ記(族長時代)

➔エレミヤも、ヨブ記を知っていただろう

答えはないと分かりつつ、問わずにいられない

エレミヤへの神の答え

- ① 人の罪の重さ …イスラエルと人類の**罪**
- ② 免れ得ない神の裁き …世の終わりの**裁き**
- ③ 信仰者の救いの道 …信仰者が招かれる**神の国**

■ バビロン捕囚も、大艱難も免れないが、
悔い改めて主を信じる者は、
ユダヤ人も異邦人も、神の国への救いの道に招かれる。

主イエスが告げられた携挙の希望

「その日は、全地の表に住むすべての人に突然臨むのです。しかし、あなたがたは、必ず起こるこれらすべてのことから逃れて、人の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈っていなさい。ルカ21:35～36」

- 主イエスの福音を信じた者への希望が、**携挙**
 - ➔ **携挙**により、終末の大艱難時代の裁きを免れる

今も続くイスラエルの苦難を思う

- 世界各地で引き起こされてきたユダヤ人虐殺
…極めつけがホロコースト。全ユダヤ人の1/3が虐殺
- 奇跡的な建国後(1948)、生存を賭けた戦争が勃発。
四回にわたる中東戦争。その後も続いたテロ。
- そして、ホロコースト以来の惨劇となった10・7
いまだ100人以上の人質。世界中で高まる反ユダヤ主義。

イスラエルへの「主の燃える怒り」

■ゼパニヤ書2:1～2

ともに集まれ、集まれ。恥知らずの国民よ*。

御定めが行われて、その日が粃殻のように過ぎ去らないうちに。

【主】の燃える怒りが、まだあなたがたを襲わないうちに。

【主】の怒りの日が、まだあなたがたを襲わないうちに。

* 艱難期の主の裁きの前に、イスラエルは、不信仰のまま、再び約束の地へ集められている。➡現在のイスラエル?!

主は、裁きによって成し遂げられる

■ エレミヤ30:23~24

見よ。【主】のつむじ風が憤りとなって出て行く。
渦巻く暴風が悪者の頭上に荒れ狂う。

【主】の燃える怒りは、去ることはない。

主が心の思うところを行って、成し遂げるまでは。
終わりの日に、あなたがたはそれを悟る。

主の裁きには、目的がある!!

イスラエルを民族的回心に導く、神の裁き

■ エレミヤ書30:18~19、22

—【主】はこう言われる— 見よ。わたしはヤコブの天幕を回復させ、その住まいをあわれむ。都はその丘の上に建て直され、宮殿はその定められている場所に建つ。

彼らから、感謝の歌と、喜び笑う声が湧き上がる。

わたしは人を増やして、減らすことはない。

わたしが尊く扱うので、彼らは小さな者ではなくなる。

あなたがたはわたしの民となり、

わたしはあなたがたの神となる。

私たちにとっての最大の苦難

- 最も苦しい試練は、悪を行う他者によってもたらされる。
- エレミヤも、預言者たちも、そして主イエスも、悪に落ちた偽善者たちによっても苦しめられた。
- 霊的戦いの最前線は常に、信仰共同体の内にある。イスラエルであり、地上の教会に。

もしも、逃げたくなかったときには…

- 試練につまずき、心が折れてしまうこともある。
- どうしても逃げたいと思ったときには、とことん逃げてしまうのも、一つの道。
- どうやっても逃れることはできないと知らされるから。

★ 苦難の意味を噛みしめよう ★

- 主が堅く約束されたのは、神の国での永遠の命。栄化。
- 地上の聖化の歩みで、苦難が絶えることはない。
父なる神は、愛する子を訓練される。
私たちを成長させ、神のきよさにあずからせるために。
- 聖霊が内に住まわれている。主イエスが共におられる。
逃れの道も主が与えてくださる。

御言葉に立ち、救いの確信と主への信頼を強めていこう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ しゅ
わたしは、神のみ子、主イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活されたこと、を信じます。

てん ちち あい こ わたし くんれん
天の父は、愛する子である私を訓練されます。

しれん なか しゅ たす もと つづ
試練の中で、主にのみ、助けを求め続けることができますように。

みことば ひび あじ しゅ やくそく わたし ちから
御言葉を日々味わいます。主の約束を私の力としてください。

きた みくに きぼう やみ よ わたし つか
来るべき御国の希望をもって、闇の世に私を遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」